

# V S O P

飯豊町立飯豊中学校  
第2学年通信  
No.10  
令和2年5月15日

## 朝の登校の様子から

### ～学校スタートの第一歩は足元から～

毎朝、玄関で皆さんへの挨拶と検温の声掛けをしています。見ていると、マスク習慣や除菌習慣は、多くの人に身につけているようです。世の中のコロナ対策は終息に向かいつつあるような印象を受けがちですが、有効なワクチンや対処法が確立されるまで、終息宣言は出されません。第2波・第3波から飯豊町・飯豊中を守るためにも、今まで身に着けた「新しい生活様式・生活習慣」をこれからも継続してほしいと思います。

ところで、朝の挨拶をしながら気が付いたことがあります。

#### 皆さんのズックの踵（かかと）、どうなっていますか??

半数以上の方は、玄関でしっかり履いています。が、「動きながらズックを履く」「踵をつぶして歩きだす」人が予想以上に多いことに気づきました。最近では、最初から「踵をつぶして履く」タイプの靴もありますが、スポーツ用の履物ではほとんどありませんし、学校の内履きはそういう構造になっていません。

踵の固い部分（ヒールカップといいます）は、運動時の足首を守るために、非常に重要な役割を果たしています。学校では内履きで運動をすることもありますから、その踵をつぶす（壊す）ということは、その機能をなくしてしまうこととなります。当然「運動靴」としては、望ましくありません。



また、一流のホテルマンは、お客様の判断をする基準の一つとして、「履物の状態を見る」そうです。入試の面接でも、「ズックを見るとその人の普段の学校生活がわかる」と言っていた高校の先生もいます。つまり、中学生にとってのズック（内履き）はあなたの学校生活を表す「鏡」のような存在です。

「新しい生活様式」も、最初は面倒だと思った人がいるはずですが、毎日やっているうちに、それが普通になっていることに気づきませんか??

#### 「ズック（内履き）をしっかり履いて、1日をスタートする習慣」

ぜひ、新しい生活様式の一つに加えてください。